一人暮らしを始めた三郎さん。
人との関わりや外出機会が少なくなってきたことで徐々にからだも弱ってきました。

歩行状態も不安定
転ぶことも度々・・・

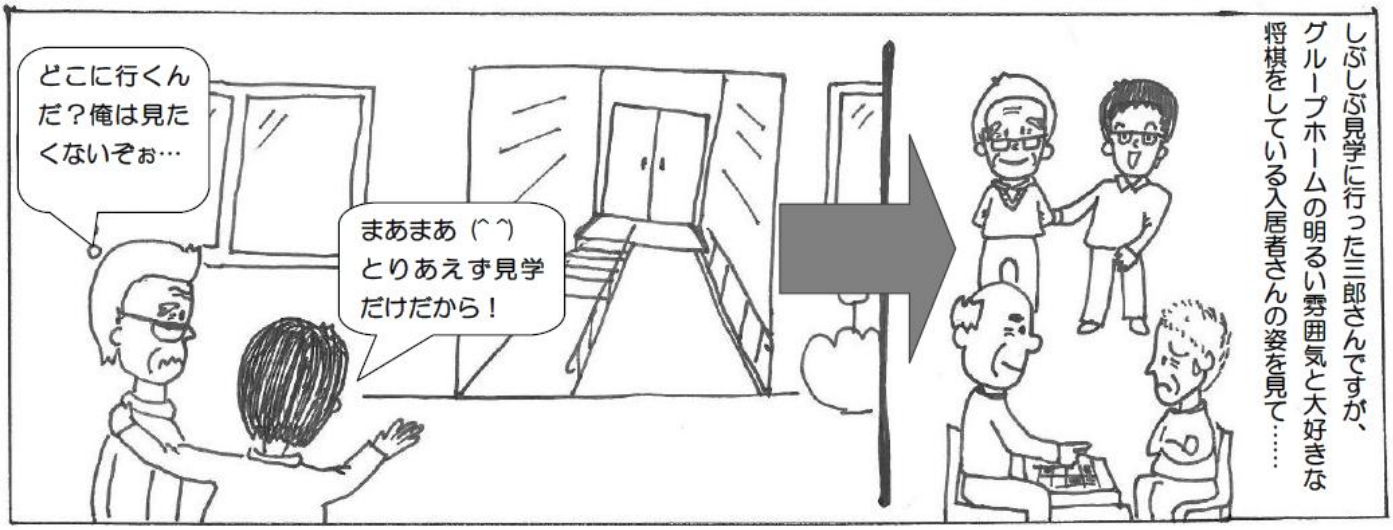
ゴミを捨てる曜日がわからなくなったり、物忘れも増えてきました。

三郎さんの異変に気付いた息子さん。
地域包括支援センターに相談し、訪問介護を利用することになりました。

週2回の訪問介護で、掃除や洗濯、食事作りを手伝ってもらっています。

ある日、ケアマネジャーさんから息子さんに連絡がありました。

息子さんはケアマネさんに相談しました。



これからの住まいに不安を感じても、こういった住まい方もあるということを知った息子さんは、本当に安心したようです。

三郎さんも、生き生きと「三郎さんらしく」今でも元気に暮らしています。

(実話を基に作成しました)

最後に

- 他にも様々な住まい、住まい方があります。ご相談は担当のケアマネージャー、または地域包括支援センターへご相談下さい。
- お近くの「まちかど介護相談所」でも相談できます。